
岐阜県立大垣工業高等学校

学校長 浦山 朋征

学校住所 岐阜県大垣市南若森町301番地1 電話 0584-81-1280

1 会議の名称 岐阜県立大垣工業高等学校 学校運営協議会（令和2年度第2回）

2 会議の構成（敬称略）

- 委員 大石 玉穂 同窓会事務局
※ 亀山 真弘 大垣警察署 生活安全課長
※ 川崎 保典 イビデン株式会社 執行役員
経営企画本部部長付 同本部 総務部長
※ 小塚 生開 共立紡機株式会社代表取締役
川西 和彦 育友会会長
高木 悦子 育友会副会長
多賀 英昭 太平洋工業株式会社 品質保証部 副参事
長瀬ちえ子 大垣夢ある女性の会 事務部長
二村 勝 岐阜県PTA連合会顧問
※ 古田 一代 地域代表

- 学校 浦山 朋征 校長
竹中 啓行 事務部長
山内 義之 副校長
土田 修三 教頭
中田 卓生 教頭

※ご欠席された委員

3 会議の目的 岐阜県立大垣工業高等学校学校運営協議会設置要綱に基づき、令和2年度の教育方針・重点及び学校課題を説明し、学校運営に必要な支援を得るべく、協議や意見交換を行う。
協議テーマである「本校の良さを生徒の姿で地域に伝え、地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくり」について提言を受ける。

4 会議の開催 令和2年11月27日(金) 13時30分～15時30分
大垣工業高等学校 豊栄館2階 会議室

5 会議の概要

(1) 学校長挨拶

(2) 学校より報告（全日制:教頭・定時制:副校長）

(ア) 本年度の教育活動状況について

新型コロナウイルス感染症への対応

(イ) 令和2年度の評価及び来年度へ向けての改善について

(3)協議

「本校の良さを生徒の姿で地域に伝え、地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくりについて」

令和3・4年度研究指定 ～地域産業の担い手育成総合戦略事業
(地域資源を活用した専門的職業人の育成事業)～

- 意見 1 新型コロナウイルスの影響で学校の教育活動が制約されている。難しい面も多々あると思うが、オンラインを活用して、実際に働いている卒業生のお話を聞く機会を設定してほしい。在校生一人ひとりが工業高校の進路を理解するとともに、自分の将来をイメージし、進路をより真剣に考える良い機会となる。
- 意見 2 新型コロナウイルスは第3波の状況にあり、当面、元に戻るとは考え難い。今後の学校教育は、新型コロナウイルスと共存していく考え方を持って、計画、立案していくべきである。
- 意見 3 来年度からの研究指定に向けて、「このような視点で研究するとよいのではないか」「こんなことを産業界、地域、保護者をお願いしてはどうか」などの意見を委員として提案する場合、新型コロナウイルスの影響で実施が難しいと思われることであっても提言してよいか。
- 意見 4 学校評価アンケートの説明を受けたが、昨年度のデータも付けておくと、比較しやすく分かりやすいと思う。
- 意見 5 高い求人倍率が示すように、本校は企業から高い評価を得ている。学校は企業との懇談等において、多くの情報を得ているが、保護者は企業のことが分からない。企業から保護者へのメッセージを伝えるような場の設定を検討してほしい。

(4)学校長御礼の言葉

6 会議のまとめ

- ・コロナ禍であっても教育に必要なことは、工夫し形を変えてでもやりきる。
- ・ICTが整備されたが、これらを上手に使いこなし、活用することが大切である。まだまだ不十分であるので職員研修を行うなどして対応したい。
- ・工業高校での3年間の集大成となる課題研究発表会は、オンライン等を利用して何とか実施したい。第3回学校運営協議会は、この課題研究発表会の日(令和3年2月13日)を予定している。
- ・企業、大学、地域等と連携し、委員の方々の新しい考え方を取り入れて、学校の改革を進めていきたい。
- ・令和3・4年度研究指定～地域産業の担い手育成総合戦略事業～についてのご意見を後日、委員の方にいただきたい。
- ・本日いただいた貴重なご意見を、今後の学校教育に活かしていきたい。